

第3回
医師の
「スマートフォン&タブレット型端末」
利用意向調査

平成23年10月26日

株式会社QLife(キューライフ)

調査の背景

スマートフォン(例:iPhone)やタブレット型端末(例:iPad)の利用者拡大の勢いが止まらない。医師はどの程度所有、あるいは所有予定なのだろうか?その実態と、利用目的を調査し、「医療現場ならではの使い方」があるのかを探った。

過去2回、同様の調査を行った時点と比べての状況変化も確認する。

結論の概要

1)スマートフォンを所有している医師は、31.0%で、8カ月前の前回調査と比べて約2倍、16カ月前の第1回調査と比べて約4倍となった。「所有予定」の医師を加えると、今調査始まって以来、初の過半数となり、医師の間でも今やスマートフォンを持つことが「当たり前」の状況になっているといえる。

2)具体的なスマートフォン機種は、iPhoneが58.8%でトップを守り、前回調査で急伸したAndroid端末のシェアはほぼ横ばいとなった。

3)タブレット型端末を所有している医師は、8カ月前の前回調査よりも2倍以上の19.7%。「所有予定」と合わせると、医師の3人に1人がタブレット端末を「所有/所有予定」であることが判明。特に開業医のタブレット所有率がこの8カ月で約3倍になるなど、急速な拡大期に入っていることが分かった。

4)具体的なタブレット型端末機種は、前回調査に引き続き、iPadが8割以上のシェアを獲得。

5)タブレット型端末の所有/所有予定の目的は、「論文や医学誌等を閲覧」など専門コンテンツ閲覧・保管に加えて、「メールやWEB」「患者説明」などが多く見られた。

【調査実施概要】

▼調査主体

株式会社QLife(キューライフ)

▼実施概要

- (1) 調査対象: 全国の医師
- (2) 有効回収数: 300人 (病院勤務医150人、診療所開業医150人)
- (3) 調査方法: インターネット調査
- (4) 調査時期: 2011/10/8~2011/10/13

▼有効回答者の属性

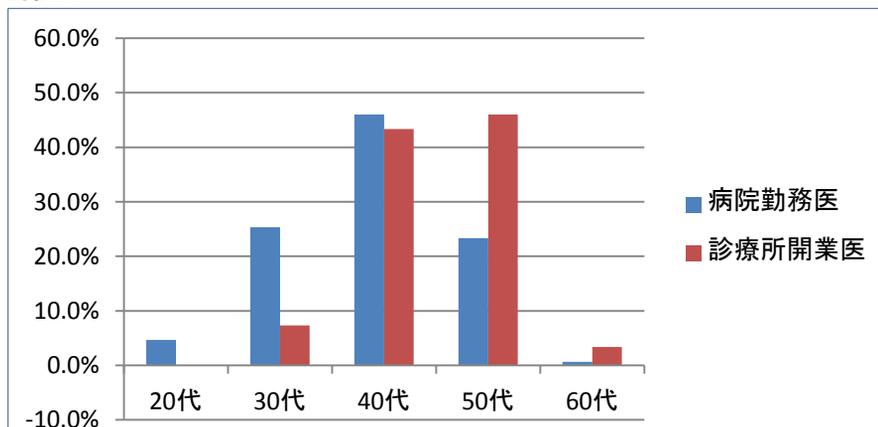
- (1) 性・年代:

	男	女	計
20代	1.3%	1.0%	2.3%
30代	12.3%	4.0%	16.3%
40代	38.0%	6.7%	44.7%
50代	32.3%	2.3%	34.7%
60代	2.0%	0.0%	2.0%
計	86.0%	14.0%	100.0%

- (2) 居住地:

北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬
7.3%	1.3%	0.7%	1.7%	1.3%	1.3%	1.0%	1.3%	2.0%	1.0%
埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野
3.0%	3.7%	12.3%	4.0%	2.0%	0.3%	0.7%	0.3%	0.7%	1.0%
岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山
1.3%	2.7%	7.0%	1.7%	1.3%	4.7%	5.3%	4.7%	0.3%	1.0%
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡
0.0%	0.7%	1.3%	2.3%	1.3%	0.3%	1.7%	1.0%	2.0%	5.7%
佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄			
0.7%	1.7%	2.3%	0.7%	0.3%	0.7%	0.3%			

- (3) 勤務先:



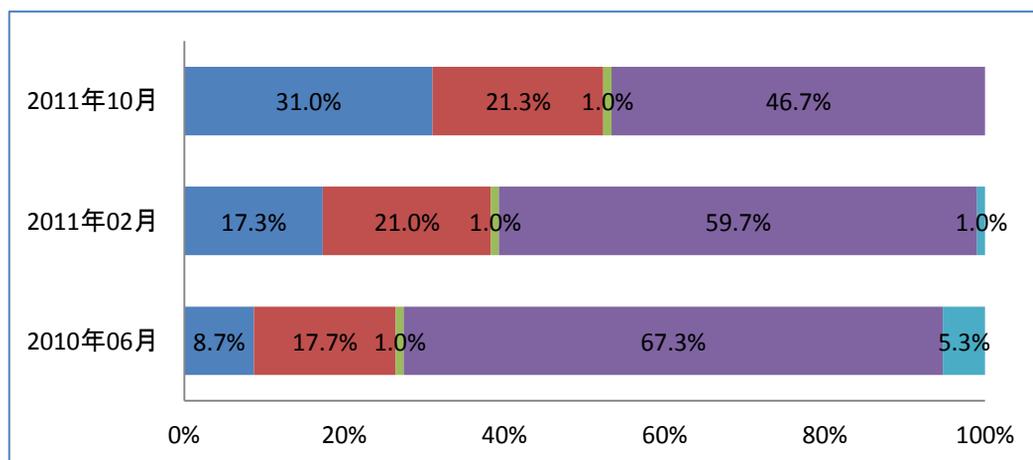
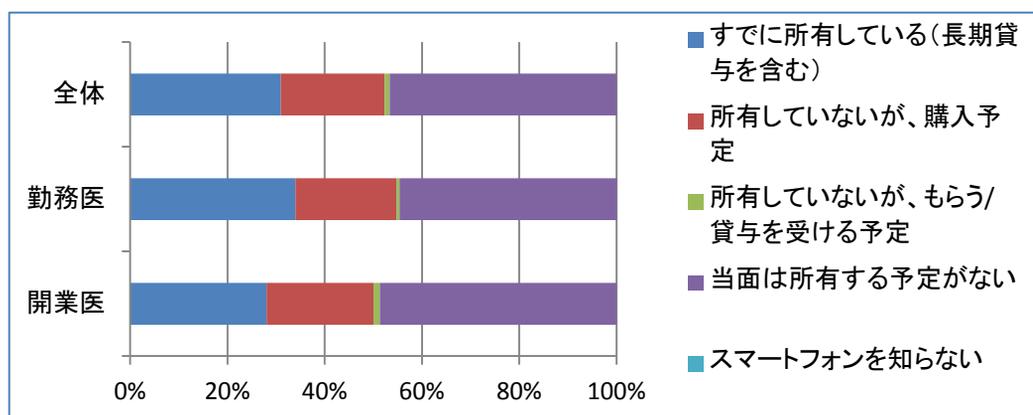
【調査結果の詳細】

1. 【スマートフォン】を、お持ちですか。または購入してみたいと思いますか。

※【スマートフォン】とは：携帯情報端末(PDA)と電話機が融合した携帯端末を指します。【タブレット型端末】よりも小型です。

スマートフォンを所有している、と回答した医師が全体の31%となり、2010年6月の第1回調査から、わずか1年4カ月で約4倍の伸びを示した。さらに「所有していないが、購入予定」の層も含めると、この調査始まって以来、初めて半数を超え(52.3%)、さらに「スマートフォンを知らない」と回答した医師が0名となり、スマートフォンが「拡大期」から「普及期」に入ったことを如実に示す結果となった。

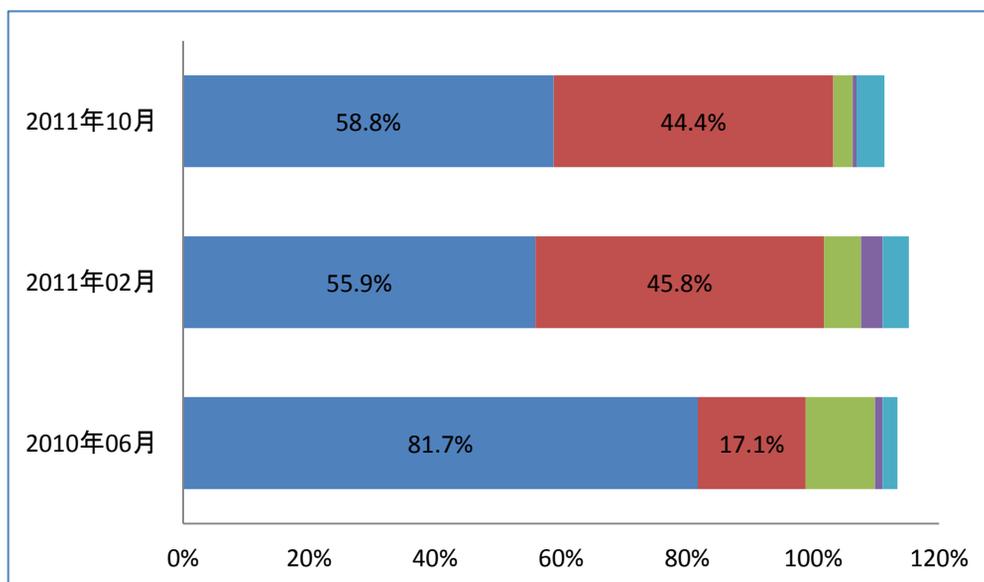
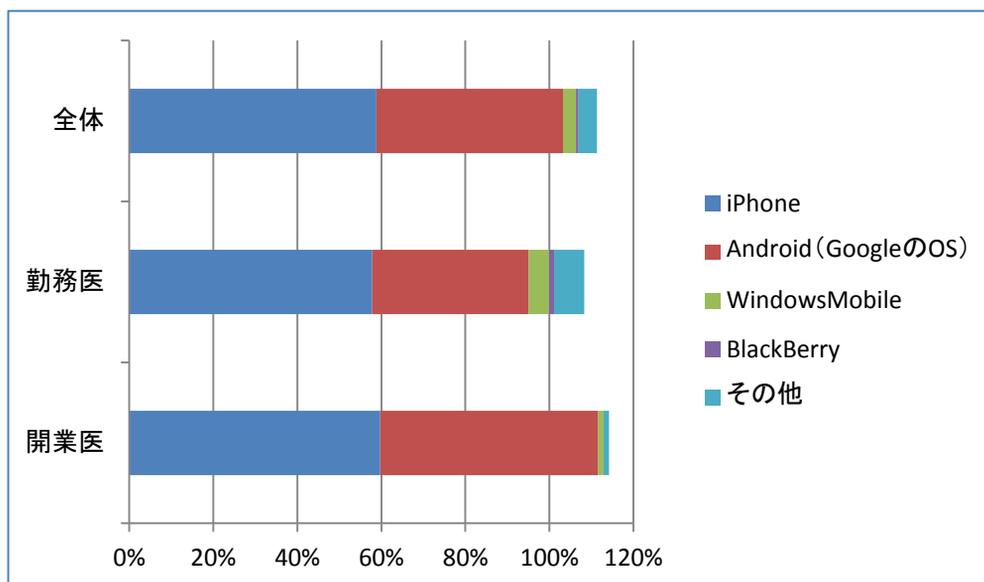
	全体	勤務医	開業医
すでに所有している(長期貸与を含む)	31.0%	34.0%	28.0%
所有していないが、購入予定	21.3%	20.7%	22.0%
所有していないが、もらう/貸与を受ける予定	1.0%	0.7%	1.3%
当面は所有する予定がない	46.7%	44.7%	48.7%
スマートフォンを知らない	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%



2. どのスマートフォンをお持ちですか/所有予定ですか。＜複数選択＞

所有者および所有予定者に具体的な機種を聞いたところ、全体結果ではiPhoneが引き続きトップの座に。前回調査で急速にシェアを伸ばしたAndroid端末だが、今回の調査では横ばいの結果となった。しかしながら、開業医に絞ってみると、iPhoneとAndroid端末の差が約8%（勤務医は約20%の差）と拮抗していることが分かる。

	全体	勤務医	開業医
iPhone	58.8%	57.8%	59.7%
Android (GoogleのOS)	44.4%	37.3%	51.9%
WindowsMobile	3.1%	4.8%	1.3%
BlackBerry	0.6%	1.2%	0.0%
その他	4.4%	7.2%	1.3%

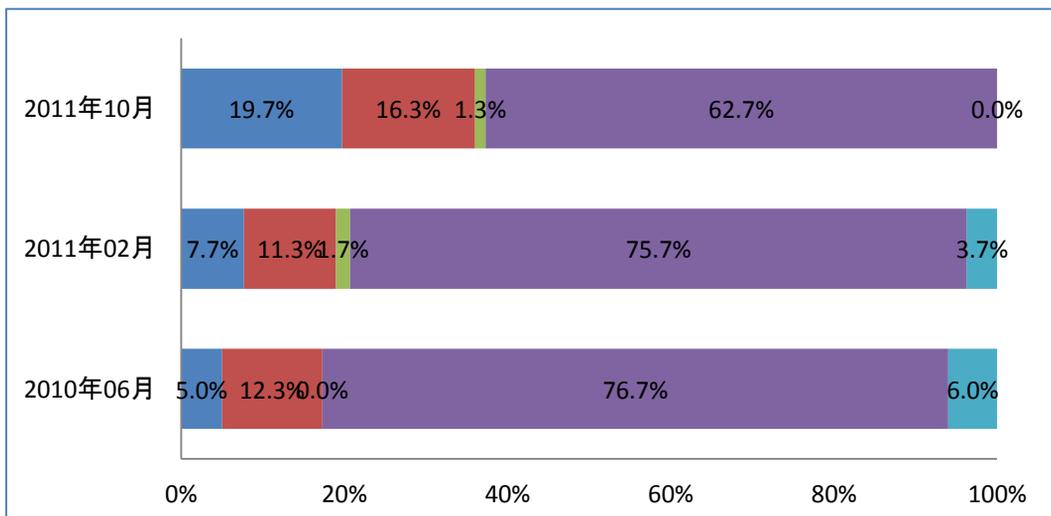
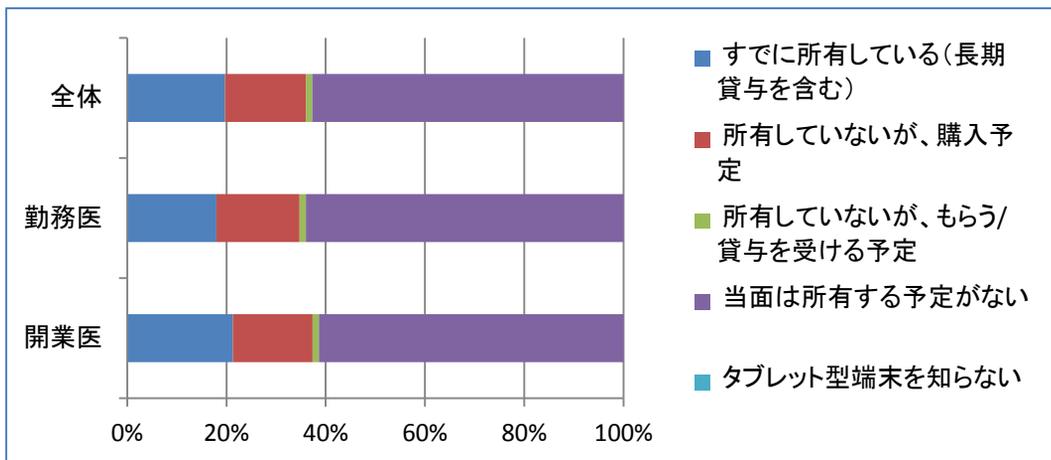


3. 【タブレット型端末】を、お持ちですか。または購入してみたいと思いますか。

※【タブレット型端末】とは：スクリーンを指先でタッチして操作する携帯型コンピュータを指します。本調査ではアマゾン社のキンドルなど電子書籍用端末も含むものとします。【スマートフォン】よりも大型です。

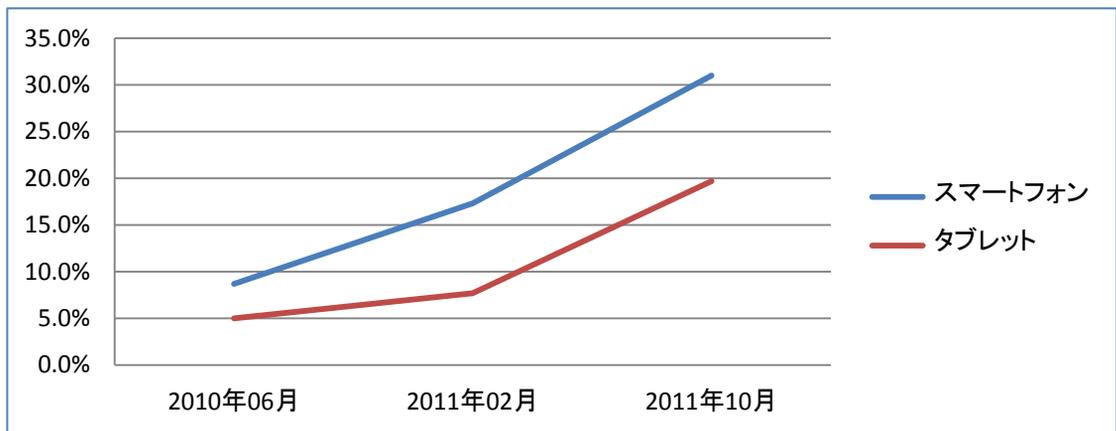
タブレット端末の所有状況については「所有している」と回答した医師が前回調査の2倍以上の19.7%。「購入予定」と合わせると、約35%となり、急速に浸透していることが分かった。また、スマートフォン同様、「知らない」と答えた医師が今回初めて0名となるなど、「認知・導入」の段階から「拡大・成長」のステージに入ったといえよう。

	全体	勤務医	開業医
すでに所有している(長期貸与を含む)	19.7%	18.0%	21.3%
所有していないが、購入予定	16.3%	16.7%	16.0%
所有していないが、もらう/貸与を受ける予定	1.3%	1.3%	1.3%
当面は所有する予定がない	62.7%	64.0%	61.3%
タブレット型端末を知らない	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

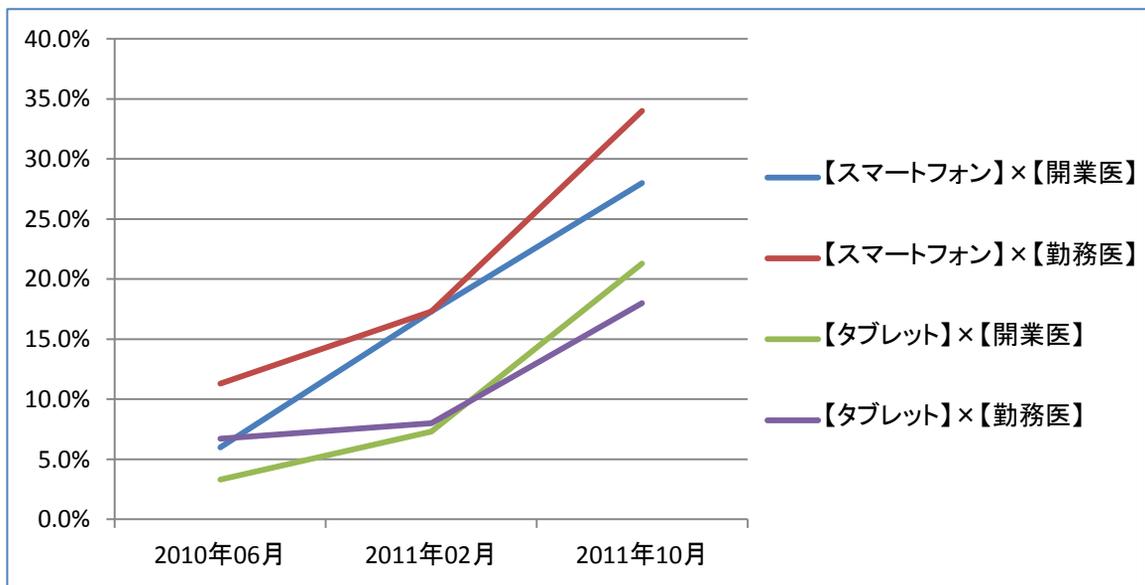


スマートフォンとタブレット型端末の所有率の変化を、同じグラフの上に重ねた。どちらも2011年に入り、上昇カーブが急になっていることが分かる。顕著なのは開業医のタブレット所有率。前回調査からわずか8カ月で所有率が3倍になるなど、急速にユーザーを増やしていることが分かった。

【すでに所有している】	2010年6月	2011年2月	2011年10月
スマートフォン	8.7%	17.3%	31.0%
タブレット	5.0%	7.7%	19.7%



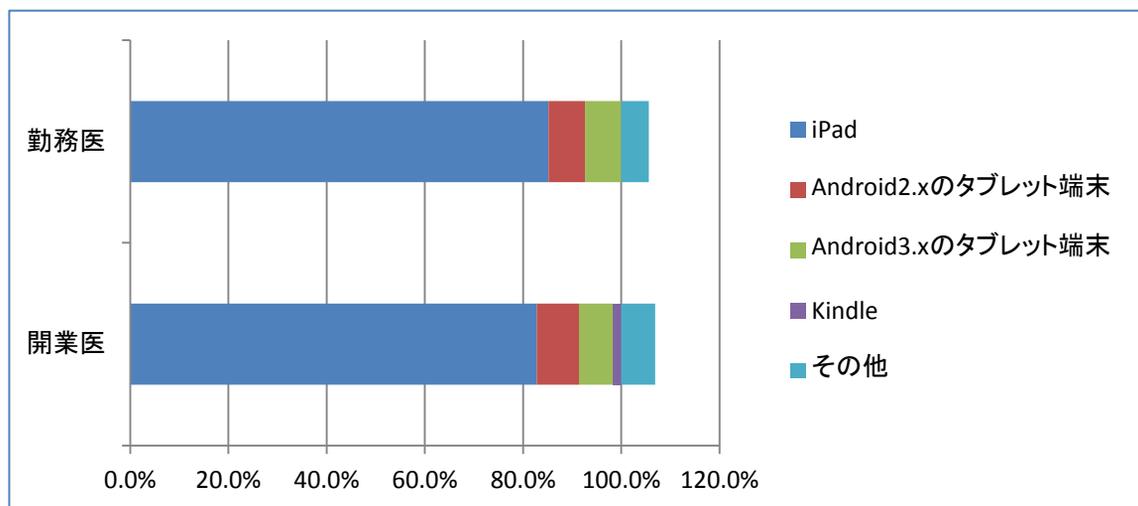
【すでに所有している】×【勤務体系】	2010年6月	2011年2月	2011年10月
【スマートフォン】×【開業医】	6.0%	17.3%	28.0%
【スマートフォン】×【勤務医】	11.3%	17.3%	34.0%
【タブレット】×【開業医】	3.3%	7.3%	21.3%
【タブレット】×【勤務医】	6.7%	8.0%	18.0%



4. どのタブレット型端末をお持ちですか/所有予定ですか。＜複数選択＞

所有者および所有予定者に具体的な機種を聞いたところ、iPadが8割超と圧倒的な1位を維持。スマートフォンとは異なり、タブレット端末の分野ではまだAndroid陣営は大きく後れをとっている。

	全体	勤務医	開業医
iPad (Apple社)	83.9%	85.2%	82.8%
Galaxy Tab (Samsung社) などAndroid2.xのタブレット端末	8.0%	7.4%	8.6%
Optimus Pad (LG社)、GALAPAGOS (シャープ社) などOSにAndroid3.xのタブレット端末	7.1%	7.4%	6.9%
Kindle (Amazon社)	0.9%	0.0%	1.7%
その他	6.3%	5.6%	6.9%



【参考】2011年2月調査時

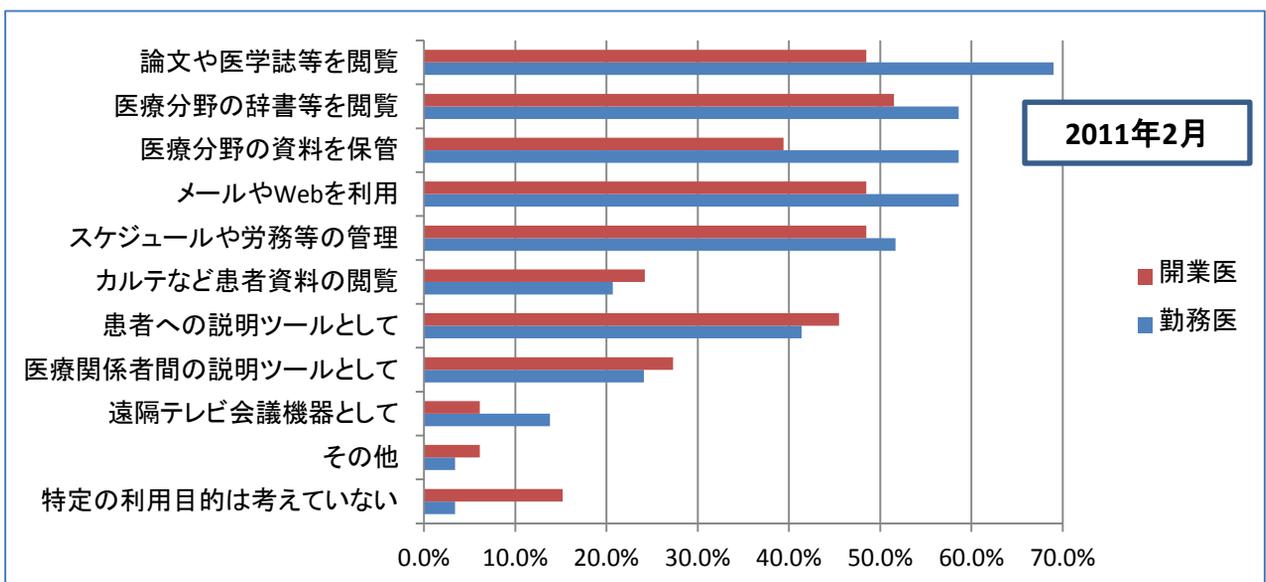
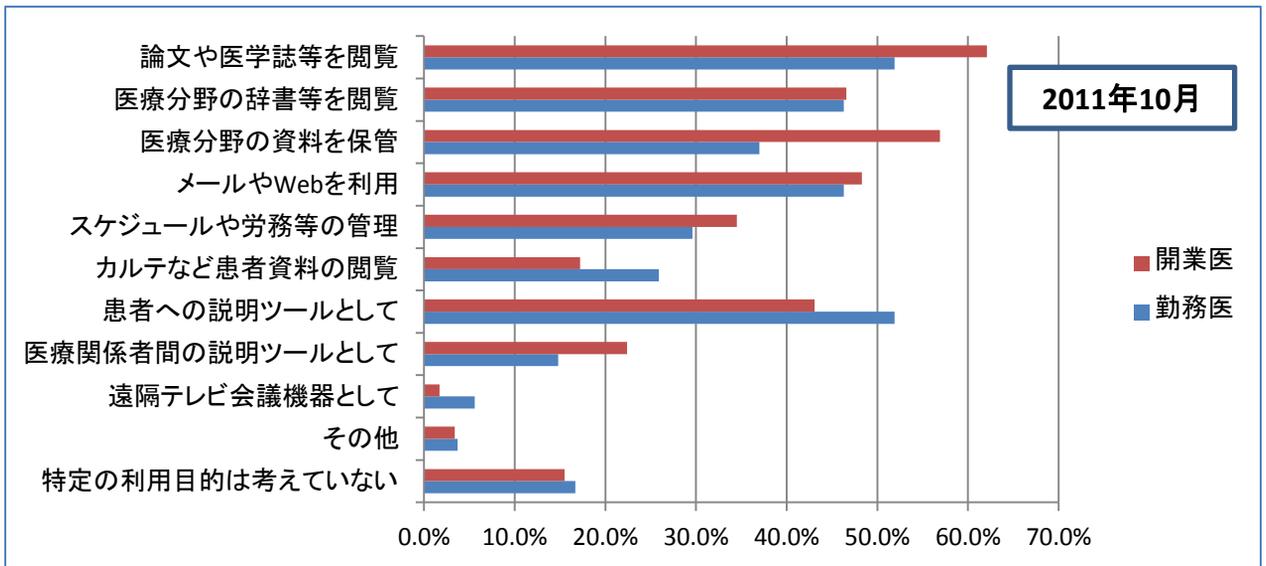
	全体	勤務医	開業医
iPad (Apple社)	82.3%	82.8%	81.8%
Galaxy Tab (Samsung社)	17.7%	10.3%	24.2%
GALAPAGOS (シャープ社)	14.5%	6.9%	21.2%
BIGLOBE Smartia/LifeTouch (NEC社)	3.2%	3.4%	3.0%
Kindle (Amazon社)	3.2%	3.4%	3.0%
Reader (ソニー社)	3.2%	3.4%	3.0%
その他	4.8%	3.4%	6.1%

5. 仕事上(医療現場)で、どんなことに【タブレット型端末】を利用中/したいですか。〈複数選択〉

タブレット型端末の医療現場での使用用途については、前回調査と比較して大きく異なる結果となった。前回調査では、勤務医が「論文・医学誌の閲覧」「辞書の閲覧」などの『情報収集・整理ツール』として利用する回答が多く、開業医は「患者への説明」「スケジュール・労務の管理」といった『実務ツール』として利用する回答が多く見られた。

しかしながら、今回はほとんどの選択肢において、「開業医」「勤務医」の利用意向が逆転もしくはほぼ同じになるといった変化が見られた。

この背景として考えられるのは設問3でも記した「開業医のタブレット端末所有率の大きな伸び」であろう。これまでどちらかといえば『業務の軽減』を中心に使っていた開業医が、「資料・辞書の閲覧」などの持ち運びしやすいタブレット端末ならではの機能を有効的に使い始めたと推定される。



本調査に関するお問い合わせ先:

株式会社QLife 広報担当 田中 智貴
TEL : 03-5433-3161 / E-mail : info@qlife.co.jp

<株式会社QLifeの会社概要>

会社名 : 株式会社QLife(キューライフ)
所在地 : 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂2-16-5 さいとうビル4F
代表者 : 代表取締役 山内善行
設立日 : 2006年(平成18年)11月17日
事業内容 : 健康・医療分野の広告メディア事業ならびにマーケティング事業
企業理念 : 生活者と医療機関の距離を縮める
サイト理念 : 感動をシェアしよう!
URL : <http://www.qlife.co.jp/>
